

楽しく合格させる方法のシリーズ その1 介護・病院の人材不足を解消する決定策をご紹介します

- ※ 今年の介護国家試験結果は、合格率が46%で、前々年度の49.8%をも下回る結果であった。（表1参照）
- ※ それに対して、弊社が行なう「3か年学習計画」に基づいた受験者の合格率は、今回も100%の全員合格を果たした。この結果は、「3か年学習計画」の効果を証明しており、確実に人材確保ができる方法だ。

- ※ 合格発表の直後に発行する【月報】では、毎年のようにEPA受け入れ機関に対して、「3か年学習計画」で行う【到達度試験】への参加を呼び掛けている。
- ※ それに応じた受け入れ機関は、確実に合格を果たしている。合格者は、人材不足を補うだけでなく、職員より積極的に業務をこなす人材として活躍している。

I、「3か年学習計画」参加者は、全員合格！（スカイフ + テスト）を併用！

- 「3か年学習計画」に基づいた【到達度試験】の参加者は、介護・看護ともに、一人も落ちることなく当然ながら、全員合格だった。
- 合格できた秘訣は、1年目に【基礎言語能力を養う】指導方法を確立していることだ。
即ち、入職前までの受験者の日本語力は、多大な学習時間を使っているにも関わらず、ほとんど言語能力がないことは、弊社の調査によって、証明されているからだ。
- 2年目からが、事業団教材や専門書などに対応できる段階となる。この意味は、【基礎言語能力】がないままに、専門用語を中心とした教材は使えないからだ。これを無視して強要すれば、受験者は日本語の難しさを、漢字熟語から強く感じる。その結果、【学習意欲が減退する】ことになる。だからこそ、解決のためには、表1の「声」を参考にすべきだ。

表1、【国家試験合格率】

27回(2015年)	28回(2016年)	29回(2017年)	30回(2018年)	31回(2019年)
44.8%	50.9%	49.8%	50.7%	46%

【弊社の「3か年学習計画」のスカイフ授業内容と効果】

年次	どんな学習をしたのか	受験者の声
1年目	①日本語の「規則性と用法」を学び、【自学能力】を身につけた。 ②1,755語の基本漢字を習得し、中学2年生レベルの言語能力を学んだ。 ③夜勤対応能力を学び、一人で業務をして報告書を書けるようになった。	● 入職前までの勉強の仕方と全然違って、日本語の使い分けができるようになって、驚いた。 ● 文の骨組みが分かり、自分で文を作れた。そして、日本語文を長く、速く書けるようになった。
2年目	①日本語の「使い分け方」を理解し、「考え・思い」の表現方法を学んだ。 ②国語辞典を使って、専門用語と知識を調べる方法を学んだ。 ③介護参考書と国家試験過去問題集を基に、自学できる方法を学んだ。	● 専門用語の熟語の意味を理解することができるようになった。 ● 参考書の分からない言葉は、自分で調べることができた。 ● 過去問題は、毎日3問ずつ解き、「解説」を読んで理解した。
3年目	①職員と同等に会議で意見を発言でき、内容把握をする方法を学んだ。 ②要約できる方法を学び、国家試験の「情景設定文」の解き方を学んだ。 ③専門学校と同等の知識を学び、国家試験に合格する方法を学んだ。	● 日本人の話は方言があり、分かりにくかったが、今は大丈夫だ。 ● 国家試験問題の「キーワード」を選ぶ方法が分かり、簡単に解ける。 ● 模擬試験での正解率は、90%以上いつも取れるようになった。

II、「到達度試験」に参加すると、現場指導者の役割負担が激減！！

- 表2は、【到達度試験】参加受け入れ機関の声だ。現場指導者と管理者の声をまとめた表だ。
- 声の特徴は、受験者対応の負担が少ないことだ。その理由は、【考察票】の「結果と指導上の助言」に基づき、管理ができることだ。
- 不参加の受け入れ機関に調査をした結果、特に現場指導者からは、「日本語教師でもないのに、日本語を教えることはできない」とか、「通常業務の上に管理・指導をするのは負担が多すぎる」等の声が多く聞かれた。受け入れ業務の増大に問題視をしているのが大半だ。

表2、【受験者には、特別待遇をしない】

年次	現場指導者の声	管理者の声
1年目	① 学習指導をせず、監督するだけで良いのが、精神的に楽だ。 ② 【考察票】が来るので、受験者の到達度が良く分かる。	● 【到達度試験】に参加して、合格者を出しているのだから、継続して受け入れを行っている。 ● 助成金の範囲内でできるから良い。
2年目	① 【考察票】の結果を見て、能力を判断し、夜勤に組み入れる。 ② 【考察票】で日本語力の弱点等が判明するので指導しやすい。	● 受験者には特別な配慮をしないで、職員と同等の業務を与えている。 ● 一週間に3時間以上は、学習させないで、業務を行わせている。
3年目	① 職員と同じ位、聴解力があるので、業務指導が徹底できる。 ② 国家試験に対しては、ほとんど精神的な負担を感じない。	● 合格は当たり前として対応してる。国家試験対策は特別配慮はしない。 ● 言語の専門家に任せたら、内容・指導に対しては、異論は唱えない。

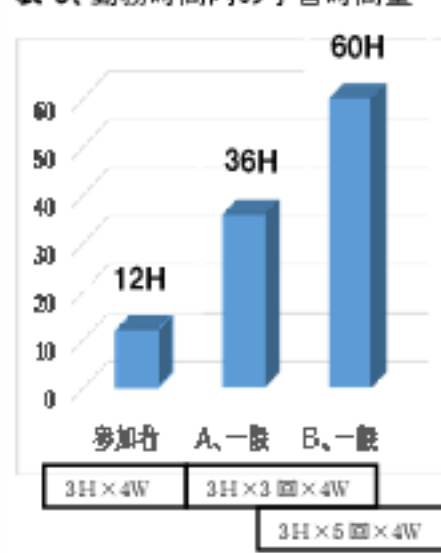
★ 受験者にも渡して、「読み聞かせ」をして下さい。

III、【勤務時間中の学習時間を減らし、実務をさせる！「月報 60 号参照」】

- 表 3 は、【到達度試験】参加者と非参加者の勤務時間内の学習時間量を比較したものだ。参加者の基本的な学習時間は、一週間に 3 時間以内とし、1 か月当たり 12 時間として、「実務中心型」としている。
- 多くの受入れ機関は、人材不足のために E P A 受け入れをし、労働力問題を解消しようとしている。しかし、現状は目的とは「真逆の現象」が起きている。それは、勤務時間内の学習時間が大量で、それを管理・指導するための「職員の労働が増大」している現象だ。

- そして、多大な学習時間と職員の労力を費やしたにも関わらず、国家試験に合格できる者は、半分以上にしか過ぎない結果を毎回生み出している。
- 表 3 の A 一般は全体的にみると少数派で、B 一般が大勢を占めている。【月報 60 号】の事業団調査では、月平均に 50 時間としているが、この内容については触れていない。即ち、B 一般が多く実質的な人材不足解消の助けになっていない「学習中心型」だ。

表 3、勤務時間内の学習時間量



IV、【受験者はあくまでも、契約労働者だ！】

- 表 3 の通り、勤務時間内に占める学習時間量が異常に多いことが分かる。この学習時間量は、日本人労働者であれば、実務を行う時間量だ。しかし、受験者には、この時間量に対しても、当然ながら、労働の対価としての賃金が支払われている。
- これに対して、日本人の国家試験受験希望者に対しては、受験者と同等の待遇は許されていない。その結果、日本人職員から受験者に対する優遇処置に対して、不平不満が生じているのも事実だ。また、国際的な観点から考えても、受験者に対して過剰な特別待遇を与えることは問題だ。

- 現場は人手不足で、職員の労働も過重となっており、職員の一人が欠けても、それに対応する余裕すらなく、管理者がその代わりに務めざるを得ないのが現状で、深刻な労働不足の実態がある。
- 受験者を労働力として、現場に積極的に投入することこそが、当面の人手不足を解消する大きな手段となり得る。しかしながら、それを戸惑っている経営者は、受験者への特別待遇を止めない。さらに、受験者の希望を受け入れて、同国人が通う教育機関等に通わせ、その日は、丸一日を労働させない実態が全国に多数ある。その教育効果は、多くが合格できない結果を生み出している。

V、【到達度試験参加後のメリット！】

- 【メリット・その 1】「入職直後から実務をさせることができる」
- 受験者は入職時までに、母国と来日直後の研修で、日本語の語彙数を大量に習得しているが、「日本語の規則性と用法」については、全く無知だ。しかし、受け入れ側は、受験者の日本語能力の実力を知らずに、表面的に「できる」と判断している。
- 【到達度試験】に参加すると、言語の専門家が受験者の言語力を分析して、今まで習得した語彙等を整理整頓させることができるために、早い者は 3 か月間後には、夜勤勤務ができる程の言語能力を養うことができる。これが、受け入れ機関にとっては、最大のメリットとなり、人手不足の一助となる。

- 【メリット・その 2】「体得で専門知識を養うことができる」

- 【到達度試験】の参加者は、非参加者と比べて勤務時間内の学習時間が少ないために、現場で多くの実務ができ、理解力があるので「専門用語と専門知識」をも身につけることができる。
- 表 1、並びに表 2 で表した通り、「年次」ごとに受験者の言語能力が高まるために、体得で習得する専門語彙・知識は、高度化して、国家試験に対する対応能力を養うことができる。
- 特にスカイプ授業では、現場で習得した専門語彙と知識について、完全に身につけるために、「参考書と過去問題集」を使いながら、受験者の知識を定着させることができる。その結果、合格能力を養え、高い合格率を出し続けている。

表 4、【参加の三大メリット】



- 【メリット・その 3】

- 「特別待遇をせず、合格させることができる」
- 表 1 で表した「どんな学習をしたのか」の「年次別内容」の通り、現場で体得学習をするだけでなく、勤務外に受験者が自学することができる。
- 【自学能力】を身につけることが、職員の負担減少に通じる重要な要素だ。これは専門家でなければできない教育指導だ。
- 弊社が生み出した合格者は、「3 か年学習計画」に基づいた結果、合格者の中でも、高得点で合格できた者たちだ。

どうしたら、受験対策が上手いくの？ 合格できるの？

そのポイントを 受験者の声でご紹介！！

前と今は、全然違ってビックリ！！

- 母国と来日直後の研修と、入職一年目の学習は、今から考えると、言葉を覚えるだけの勉強で、面白くなく、つまらない勉強だった。頭の中は、言葉の整理ができないゴミ箱の状態だった。だから、日本人と話す時も単語だけで会話をする事が多く、自分の言いたいことが言えなかった。
- 二年目から到達度試験に参加して、最初のオリエンを受けた時に、今までの学習とは違い、先生の説明より私達の話す量の方が多かった。そして、教材の使い方を習ったので、自分一人でも勉強できる方法が分かったから、安心した。
- 今は、参加後1年間で日本語の「基礎力」が身につけられたので、入職三年目からは、国家試験の受験の力をスカイプ授業と定期テストで学習している。特に、過去問題の解き方と漢字熟語の読解の仕方を勉強したので、自分だけでも家で毎日少しずつ、勉強できるようになった。もちろん、参考書も自分で勉強でき、分からない言葉があれば、国語辞典を使いながら勉強できるので、特別に国家試験対策で困ることはない、自分では思っている。
- 参加して良かったことは、自分の力がテスト結果の数値で分かるので、安心して勉強できることだ。

(高知県・A施設)

今から合格の自信が大きい！！

- 母国と集中研修の勉強では、日本語を日本語だけで考えることができず、いつも、インドネシア語で日本語を考えて話をしていた。
- 入職してすぐに到達度試験に参加して、一年目は、「100万人の日本語」教材を使って、日本語のルールや使い方を自分で勉強した。スカイプ授業もあるので、分からないことは沢山、先生に質問ができる。「聞く・話す・読む・書く力」が1年間で身につけられ、日本語を日本語だけで考えられるようになった。
- 二年目のスカイプ授業は、受験対策の勉強を中心に行った。介護参考書の読み方を学習するので、自分だけで読めるようになった。熟語漢字が沢山出てくるけれど、漢字が読めなくても意味が分かるように自然と身につけていることには、自分でも驚いた。介護参考書は振り仮名は一切、使われていないものを使用した。
- 三年目からは、国家試験合格できる力がつくスカイプ授業を受けている。「法律・日本事情」や「情景設定問題」は、文脈理解力がつく方法を勉強しているので、今では一般問題と同じように解けるようになった。後は合格するだけだ。

(山梨県・M施設)

三年目で、やっと頭の中が整理できた！！

- 入職して一年目は、ボランティアの先生に習った。でも、先生の話がよく分からなかった。だから、質問もできなかった。二年目は県の研修に行った。しかし、先生の話は半分も分からなかった。でも、友達と会えるのが楽しみで、帰りに食事をしたり、買い物をしたりできるので、楽しかった。
- 三年目に到達度試験に参加して、今は日本語の基礎をやり直したり、漢字熟語の分解の仕方を習っている。自分で少しずつ勉強できるようになっている。やっと、頭の中が整理できた。

(神奈川県・I施設)

三年目で参加、プロの凄さを実感！！

- 今までの日本語の先生や職場の指導者の日本語は、本当に分からないことが多かった。しかし、分からないと言えないので、逆に、「分かりました」と言ってしまうことが普通だった。
- 特に、専門用語と知識の説明を頑張ってしてくれるけれども、本当に申し訳ないけど、分からない日本語なので、説明の半分以上しか分からない。後でスカイプ授業で、先生に質問をすると、先生の説明は90%以上分かるので、なぜなのかが分からない。やはり、プロは凄いと思った。

(福岡県・Y施設)

学習の仕方のアドバイス 日本語学習は、「早く・楽しく・分かり易く」で指導！！

- ★ 【受験者の声】を読めば、「三か年学習計画」の重要性がよく分かります。特に入職直後から到達度試験に参加した受験者は、今まで全員合格できていることで、「三か年学習計画」の重要性が証明されています。
- ★ ほとんど日本人と同等の言語能力が身につけているので、合格後は日本人と同様に、即戦力として業務を任せることができ、職員の中でも重要な役割を果たしています。
- ★ 到達度試験に参加する時期は、「二年目・三年目・足切り」であっても参加できますが、遅くなればなるほど、【受験対応能力・合格能力】が薄くなります。
- ★ 「三か年学習計画」を持つか持たないかで、人材育成が決定されます。是非、貴法人の受験者の能力と、到達度試験参加者の能力を読み比べ下さい。

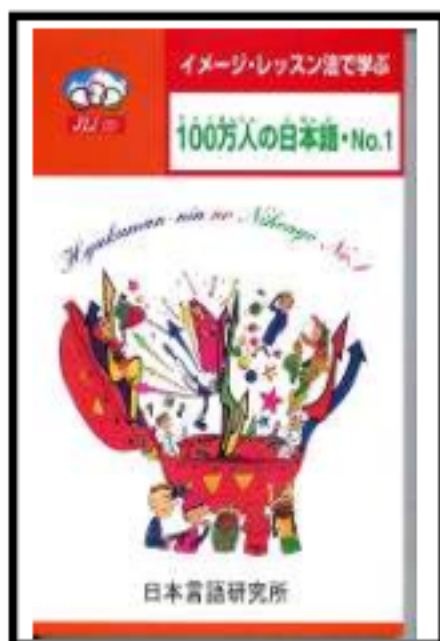
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・電話の両い合せ
ことばの研究所
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル

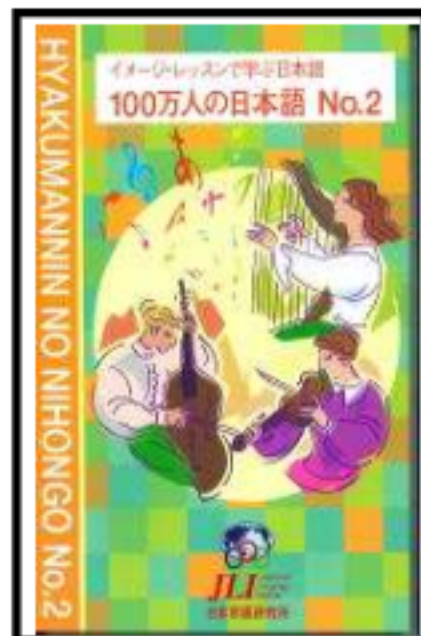


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1,560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

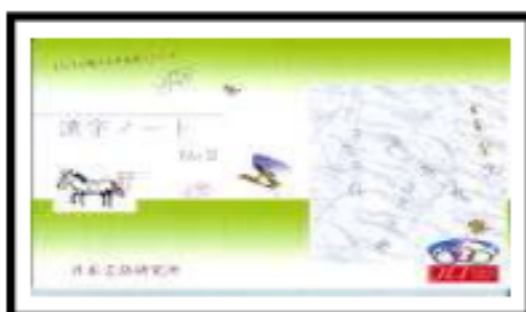
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かき (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約能力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。

②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。

③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。

④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。

②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。

③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。

④簡単な業務日誌が書ける。

⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。

②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。

③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。

④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。

②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。

③自学で「過去問」を解ける。

④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

①業務の実践力を養う。

②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。

③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。

④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。

⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。

②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。

③マークシートの解答ではなく文章による解答ができる。

④専門語彙と専門知識を自学できる。

一
年
目

二
年
目

三
年
目

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		